

南京桃の育て方

花を長く楽しむために

花の鑑賞期間を長くするためには、室温のあまり高くない場所に置いてください。できれば室温が15℃位の所に置けば約3週間程楽しむことができます。

また、風が強いと花びらが散りやすいので、風当たりの弱いところに置いてください。

花後の管理

『花の置き場』

花桃は耐陰性が弱いので、日当たりの良い所に置いてください。

露地植えで花を楽しむ場合は、花が終わった後に剪定して、木全体に日光が当たるようにしてください。（鉢植えのまま楽しむ場合は剪定しないでください。）

また、根をビニールで巻いていますので、露地植えにはビニールを外すことをお勧めします。

『水のやり方』

耐乾性があり、乾燥には耐えられますが耐水性は弱く、あまり水を与えすぎると根腐れを起こします。ただし、開花前には十分に水やりをしてください。

鉢土の表面が乾いたらたっぷりやりましょう。

『肥料』

春肥を中心に施します。花後（露地植の場合は剪定と同時）の4月に元肥として、6号鉢大の場合で油粕ダンゴ（親指大ぐらい）を2個程度、追肥として5月中に4個程度を施します。さらに、秋肥として9月に2個程度施します。

露地植えの場合の『花後の剪定』

花芽を多く付けるためには、長い新しい枝が必要で毎年花後に剪定をします。幹の上部の枝は短く（3芽を残す）、下枝は長めに切り詰めます。（南京桃は樹形が円すい形「いかり仕立」になるように、枝先を下に向けてありますが、剪定すれば枝は上に向かって伸びます。）

夏までに新梢が伸びますので、ホウキ状の美しい姿にしてください。枝数が多い場合は間引きをして樹形を整え、下枝の日当たりを良くして枯れるのを防ぎます。

ご注意

ベランダ等で鉢植えのまま楽しまれる場合は、剪定をしないでください。